

議題(1)第2次高松市創造都市推進ビジョンにおける取組について

番号	主な御意見など	市の考え方
1	<p>【三井委員】来年度の芸術士派遣事業については、資料にもあるとおり「改善継続」であるが、予算は減るが、内容改善の相談が昨年末ぐらいから始まっている。予算を増やして欲しいというお願いを何度もしたが、できないとのことだった。</p> <p>【佐々木会長】芸術士派遣事業は、予算削減のなか、中身の改善で取組を継続しているということだが、高松の創造都市事業のシンボリックな意味合いがあるので、是非、市の方で予算増をお願いしたい。</p>	<p>【事務局】 いただいた御意見は、担当課であるこども保育教育課に伝達済み。</p>
2	<p>【篠田委員】学校巡回芸術教室について、去年はコロナ禍でほとんど開催されていなかったが、1つ依頼があって呼ばれた学校があった。そのときは、緊急事態宣言前で、学校の方もきちんと対策をしていただいて、人数も分散して開催することができた。このように、コロナ対策をすれば、事業開催は可能であると思うが、今後、大規模コンサートが順次、開催される一方で、高松市の芸術士たちが活躍できるような、小規模のコンサートや演奏会を小規模会場で、かつ、屋外で対応できる場合もあると思われるので、そういった場の提供をお願いしたい。</p>	<p>【文化芸術振興課】 令和2年度における学校巡回芸術教室は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、例年よりも鑑賞者数を制限して開催したり、公演に替えて、各学校向けのメッセージ等とともに収録した公演動画を鑑賞していただくなど、工夫を凝らして実施した。 今後においても、学校巡回芸術教室やデリバリーアーツなど、小規模な会場に、アーティストを派遣する事業については、実施方法を工夫するなど、感染防止対策をしっかりと講じながら、継続して開催してまいりたいと考えている。</p>
3	<p>【藤田委員】コロナ禍において、デジタルでの発信と文化財施設の活用を融合させる取組みも試行されるなか、創造都市推進審議会も栗林公園発信だったりすると面白いと思う。</p> <p>【佐々木会長】この創造都市推進審議会は当初、様々な高松市の会場で開催していた。例えば、玉藻公園の中や高松市美術館の講堂、北浜アリーである。是非、状況が変われば、そういったところでやりたいと思う。</p>	<p>【事務局】 新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、今回は、WEB会議とし、場所については、新型コロナウイルス感染症の感染状況によって、県・市の施設が使用中止となることから、本庁舎において開催する。 次回以降については、今後の状況を注視し、本市の新型コロナウイルス感染症対策本部会の方針も踏まえながら、検討したい。</p>
4	<p>【佐々木会長】この高松市の創造都市に係る会議では、高松市創造都市推進懇談会という40歳未満の人たちで構成された会議があり、そこからの提案でいろんなものを動かそうというアイデアが生まれるなどしている。最近のU40の取組について報告を受けてこなかったが、もし、時間があれば事務局から、今、U40の方でどういう議論をしているか紹介して欲しい。</p>	<p>【事務局】 会議当日に参考資料を配布予定</p>